



教育的ニーズのある子どもの理解と支援を考える活動

教育学部 教授 藤川 雅人
助教 小山 穂菜美

教育学部特別支援教育専攻では毎年、近隣の特別支援学校や障害児通所支援事業所等に通う幼児児童生徒と交流する活動として「たんぽぽ祭り」を主催しています。教育的ニーズのある子どもとの交流を通して子どもの理解に努め、具体的な支援や配慮を考えながら活動に取り組んでいます。子どもを理解するために、学習上、生活上の困難な状況や背景を把握するとともに、子どもが最後まで活動できるよう工夫した教材を製作しています。この活動に取り組むことにより、学生は子どもへの支援だけではなく、活動の企画のほか、運営をするためのチームや役割分担の重要性についても学んでいます。多くの学生が卒業後に特別支援教育の担い手として活躍しています。

